

中学校第1学年 英語科学習指導案
単元名： Unit 10 ナイアガラの滝

日時 平成22年1月20日(水)第5校時
場所 英語教室
学年 第1学年 (男子10名 女子15名 計25名)

教科に関する調査の設問別の分析結果(三和中学校1学年)

平成21年度中学校学力向上対策事業三次市研究推進地域調査問題 第1学年 英語 4-1

次の、ジュディとユミの対話文を読んで、後の問いに答えなさい。

Yumi: Wow! It's a nice room! Is this your piano?
Judy: () It's my sister's.
Yumi: I see. Does she play the piano well?
Judy: () She likes music. So she plays it every day.
Yumi: Do you play the piano, too?
Judy: No. But I play the guitar. I often play music with her.
Yumi: Where is your guitar?
Judy: It's in my room. Let's go there.

- 1 () に適する文をア～エから選び、その記号を書きなさい。
ア Yes, it is. ウ Yes, she does.
イ No, it isn't. エ No, she doesn't.

【出題の趣旨】

会話の流れを理解し、的確に読み取ることができる。(理解の能力、言語や文化についての知識・理解)

【学習指導要領の内容・領域】

2(1) 工読むこと
(ウ) 物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること。

	正答率
本校	52.0%

解答類型	1 イ	2× ア	3× ウ	4× エ	9× 左記以外	0 無解答
本校の割合 (%)	52%	40%	4%	4%	0%	0%

	正答率
本校	84.0%

解答類型	1 ウ	2× ア	3× イ	4× エ	9× 左記以外	0 無解答
本校の割合 (%)	84%	4%	4%	8%	0%	0%

この問題を解くために必要な力

主語と動詞を正しく読み取る力。
前後の英文を読み、会話の流れを正しく理解して適切な応答を選ぶ力。
疑問文に対する応答の仕方を正しく理解していること。

誤答分析

解答類型2 ()後の文章を読んでおらず、会話の流れを理解していない。
解答類型4 ()後の文章を読んでおらず、会話の流れを理解していない。

教科に関する調査の設問別の分析結果（三和中学校 1 学年）

平成 2 1 年度中学校学力向上対策事業三次市研究推進地域調査問題 第 1 学年 英語 7 - 2

次の 1 ~ 4 の会話文の () にあてはまる最も適切な英語を、それぞれ下のア ~ エの中から選び、その記号を書きなさい。

- 2 A : () Mr. Sasaki teach English?
B : Yes. He's my English teacher.

ア Do イ Does ウ Is エ Are

【出題の趣旨】

一般動詞の yes-no 疑問文について知識があり、会話文を組み立てることができる。
(理解の能力、言語や文化についての知識・理解)

【学習指導要領の内容・領域】

「読むこと」
(ウ) 物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること。

	正答率
本校	40.0%

解答類型	1 イ Does	2 × ア Do	3 × ウ Is	4 × エ Are	9 × 左記以外	0 無解答
本校の割合 (%)	40%	4%	36%	20%	0%	0%

この問題を解くために必要な力

主語と動詞を正しく読み取る力。

助動詞 do の疑問文の用法を正しく理解していること。

主語に応じて do/does を使い分けることを正しく理解していること。

応答文の Yes. の後に he does が省略されており、He's からは別の文であることを理解していること。

誤答分析

解答類型 2 主語に応じて do/does を使い分けることを理解していない。

解答類型 3 動詞を正しく読み取っていない。

助動詞 do の疑問文の用法を理解していない。

応答文の Yes. の後に he does が省略されていることを理解しておらず、Yes, he is ~. と読んでいる。

解答類型 4 動詞を正しく読み取っていない。

主語に応じて be 動詞を使い分けることを理解していない。

教科に関する調査の設問別の分析結果（三和中学校）

平成 21 年度広島県中学校学力向上対策事業三次市研究推進地域調査問題 第 1 学年 英語 10

次の 1・2 の英文は、中学生のケン（Ken）とニック（Nick）先生の会話文です。_____ に適切な英語を入れて、会話文を完成させなさい。

- 1 Nick: Oh, you speak English very well.
Ken: Thank you.
Nick: _____ English every day?
Ken: Yes, I do.
- 2 Ken: I have a sister. How about you?
Nick: I have two brothers,
but I _____ any sisters.
Ken: Oh, I see.

【出題の趣旨】

会話の内容を読み取って、自然な流れになるように適切に英文を書くことができる。（表現の能力）

【学習指導要領の内容・領域】

「読むこと」
（ウ）物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。
「書くこと」
（ア）語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

1

	正答率
本校	48.0%

2

	正答率
本校	32.0%

解答類型		本校の割合 (%)
1	Do you study, Do you speak など	48.0
2	類型 1 において、大文字・小文字の誤りが 1 か所ある。	0.0
3	類型 1 において、綴りの誤りが 1 か所ある。	0.0
4 ×	Do you like	0.0
5 ×	Are you study など be 動詞と一般動詞を一緒に使って書いている。	0.0
6 ×	疑問文で書いていない。	4.0
7 ×	類型 1 において、大文字・小文字の誤りや綴りの誤りが 2 か所以上ある。	0.0
8 ×	1 語のみ書いている。	4.0
9 ×	上記以外の解答	24.0
0	無解答	20.0

解答類型		本校の割合 (%)
1	Don't have, do not have など	32.0
2	類型 1 において、大文字・小文字の誤りが 1 か所ある。	0.0
3	類型 1 において、綴りの誤りが 1 か所ある。	0.0
4 ×	don't	8.0
5 ×	否定文で書いていない。have のみ。	12.0
6 ×	I am not have. など be 動詞と一般動詞を一緒に使って書いている。	0.0
7 ×	類型 1 において、大文字・小文字の誤りや綴りの誤りが 2 か所以上ある。	0.0
8 ×	1 語のみ書いている。	4.0
9 ×	上記以外の解答	16.0
0	無解答	28.0

この問題を解くために必要な力

全体の文を読み、自然な話の流れを理解する力。
前後の英文を読み、適切な質問や応答を書く力。

誤答分析

- 1 解答類型 6 Oh you speak English 疑問文であることを理解していない。
解答類型 9 Do you / Do you subject 動詞を書いておらず、疑問文の文構造を理解していない。
come to school 文の意味を理解していない。疑問文の文構造を理解していない。
Monday to Friday 文の意味を理解していない。
- 2 解答類型 8 want any sisters の語句の意味を理解していない。
解答類型 9 you my 単語や文の意味を理解していない。
have now no の綴りを誤った。否定文の文構造を理解していない。
have not (2名) 否定文の文構造を理解していない。
- 無解答 会話の流れを理解していない。英文の意味を理解していない。ところどころ読めない、意味のわからない語があるため、解答意欲がわかなかった。
1 : 応答の Yes, I do. を読んでいない。 2 : but や any の意味を理解していない。

調査結果の分析をふまえた指導改善のポイント

平成 21 年度中学校学力向上対策事業三次市研究推進地域調査問題

第 1 学年 英語 4 - 1 7 - 2 1 0

【単元名】 Unit 10 ナイアガラの滝

調査結果からみる課題

【課題となる力】

自然な会話の流れをとらえて、主語や動詞に応じて適切に会話文を組み立てたり、要点を読み取ったりする力。
基本的な語彙や文法の知識。

【指導上の課題】

自然な会話の流れを組み立てさせる指導が不十分である。
文構造の指導において、様々な主語を用いて練習させることが不十分である。
話の流れを大まかにとらえさせる指導が不十分である。
基本的な語彙や文法の知識を定着させる指導が不十分である。

指導改善のポイント

自然な会話の流れを組み立てる力、要点を大まかに読み取る力を定着させる。
語と語のつながりに注意して、正しく文を書く力、基本的な語彙や文法の知識を定着させる。

【指導の工夫】

自然な流れで会話を続けることができるよう練習させる。
様々な主語を用いてドリルや言語活動を行わせる。
まとまりのある文章の概要や要点を理解するため、メモや書き込みを活用させる。
基本的な語彙や文法は繰り返し指導する。

2 文で答えたり、聞き返したりして会話を続けるよう練習させる。

- ・ 毎時間、ウォームアップのチャット練習またはクリスクロスにおいて練習させる。
- ・ スキット作り，家族紹介スピーチ後の QandA 活動で活用させる。

モデルスキット

ペアでスキットを作らせる

A : Do you like sports?
B : Yes, I do.
A : Can you play baseball?
B : Yes, I can.
But I can't play basketball.

A : Do you like _____?
B : Yes, I do.
A : Can you _____?
B : _____
But I _____.
:
:

様々な主語を用いてドリル活動や言語活動を行わせる。

- ・ 新出文型を様々な主語を用いて導入する。
- ・ クリスクロスや生徒とのインタラクションにおいて、様々な主語を用いた質問を与えて答えさせる。

本文を聞いたり読んだりする際に、メモや書き込みをさせる。

- ・ 話の流れや要点 (5W1H) が簡潔にわかるように工夫して書かせる。
- ・ 代名詞や指示語の指すもの、主語と動詞について、本文中に書き込みをさせる。

基本的な語彙や文法は繰り返し指導する。

- ・ 毎時間のウォームアップで、ドリル活動をさせる。
- ・ 毎時間の本文内容導入の際に、基本的な同じ語句を用いた形で内容を聞かせる。
- ・ 新出語句、文型導入や言語活動の際に、既習事項と比較できる形で行わせる。

中学校第1学年 英語科学習指導案
単元名： Unit 10 ナイアガラの滝

日時 平成22年1月20日(水)第5校時
 場所 英語教室
 学年 第1学年 (男子10名 女子15名 計25名)

単元について

単元観)

本単元は、冬休みに初めてカナダ旅行に出かけた絵美、慎、マイク、ジュディの4人が、大晦日にリサの案内でナイアガラの滝を訪れるという場面設定である。本文は、バスでの移動中ビデオ撮影するジュディのナレーション、次にナイアガラの滝に到着しての会話文、そしてライトアップされた夜の滝を見ての会話文である。美しい写真が多数使用され、臨場感を味わえる。海外旅行に対する興味・関心を高めることができる。

本単元では、現在時制において、助動詞 can, cannot(can't)を用いた肯定文、否定文、疑問文とその応答、また疑問詞 when を用いた疑問文とその応答文を扱う。小学校外国語活動では、「友達の誕生日を紹介しよう」(英語ノート2 Lesson3)や「できることを紹介しよう」(英語ノート2 Lesson4)の単元があり、生徒は“When is your birthday?”や“Can you ~? ... Yes, I can. / No, I can't”などの表現を使ったコミュニケーション活動を体験している。そのため、それらの表現を聞いて理解できる程度には慣れ親しんでいると思われる。ここではさらに、自然な使用場面を設定し、まとまりのある文章の中で、様々な主語を用いたり一般動詞や助動詞とともに用いたりして学習する。自分や身近な人について会話したり紹介したりする際の表現の幅を一層広げることができる。

生徒観

本学級の生徒は、9月に行った広島県中学校学力向上対策事業による生徒質問紙で、英語の学習について、90%以上の生徒が「英語の勉強は好きです。」と答えており、授業にも意欲的に取り組んでいる。また、12月に行った平成21年度広島県中学校学力向上対策事業三次市研究推進地域調査問題の平均正答率は64.1%であった。領域別に見ると次のような結果であった。

表1 三次市研究推進地域 第1学年調査問題 領域別通過率

領域	聞くこと	話すこと (実技)	読むこと (実技)	読むこと	書くこと
通過率	83.1%	88.8%	100.0%	50.0%	60.0%

表1に示すように、特に、読むことと書くことについて課題がある。

課題となる問題には、読むことについて、4-2まとまりのある文章の中で代名詞が指すものを答える問いがあり、通過率が最も低く20%であった。問10は、会話の内容を読み取って、自然な流れになるように適切に英文を書く問題であるが、ここでは無解答の生徒が1で20%、2で28%いた。問題文に読めない単語がある、意味のわからない単語があるなどで、解答する意欲を失っている。また、文章をまとまりとしてとらえることをしないで、前後を読まずにその1文のみをとらえて考えようとしている。書くことについて、問11は、ケンの妹についての説明を3文で書く問題であったが、日本語での指示を十分に理解しないまま、主語を全てIで書いている生徒が5名(20%)いた。問題の文意を取り違えている。

また、Unit 8 終了時に実施した評価問題の書くことの問題において、会話文が完成するように与えられた語句を並べ変えて1文書くという問いを3問出題したが、単語を正しくコピーして書くことができている生徒が6名(24%)いた。彼らの解答を見ると、綴りや大文字・小文字の誤りが、のべ10か所あった。そのうちの6か所は、語順は正しく選んでいた。大文字・小文字について十分に注意せず、また、綴りをあまり意識せずに書いている。

これらのことから、指導においては、特に次のような工夫が必要であると考えられる。

- ・発音や文法を指導者が説明して聞かせるのではなく、生徒が自ら考えて気付いていけるような指導の工夫。
- ・語彙や文法を確実に定着させるため、繰り返し練習させ、表現活動に活かせるような指導の

工夫。

- ・文章を話のまとまりとしてとらえさせるため，新出文型の導入や目標とする活動を，実際の使用場面に即した設定とし，既習の単語や文型を用いた3文以上のスピーチ文や2ターン以上の対話の形で行う指導の工夫。
- ・まとまりのある文章の内容理解の力を高めるため，メモを取ったり下線を引いたりするような理解を助ける指導の工夫。

調査結果からみる課題

出題の趣旨

- ・会話の流れを理解し，的確に読み取ることができる。(調査問題4 - 1)
- ・一般動詞の yes-no 疑問文について知識があり，会話文を組み立てることができる。(調査問題7 - 2)
- ・会話の内容を読み取って，自然な流れになるように適切に英文を書くことができる。(調査問題10)

誤答分析から

自然な会話の流れをとらえて，主語や動詞に応じて適切に会話文を組み立てたり，要点を読み取ったりする力，及び，単語の発音と文字・意味を一致させて理解する力に課題がある。

指導上の課題

自然な会話の流れを組み立てさせる指導が不十分である。

文構造の指導において，様々な主語を用いて練習させることが不十分である。

話の流れを大まかにとらえさせる指導が不十分である。

発音と文字・意味とを関連づけた指導が不十分である。

指導改善のポイント

本単元では，単元の最終段階で，can / can't を使って家族について10文程度のまとまったスピーチ原稿を書き，それを発表するというタスクを設定している。

タスク達成のために，上記の指導の工夫を踏まえ，次のように指導していくことが有効であると考ええる。

2文で答えたり，聞き返したりして会話を続けるよう練習させる。

様々な主語を用いてドリルや言語活動を行わせる。

本文を聞いたり読んだりする際に，メモや書き込みをさせる。

基本的な語彙や文法は，繰り返し指導する。

単元の目標

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
新しく学んだ表現を用いて，積極的に活動に取り組もうとする。	新しく学んだ表現を用いて，話したり書いたりすることができる。 内容が表現されるように，音読することができる。 新しく学んだ表現を用いて，まとまりのある文を，文と文とのつながりなどに注意して書くことができる。	まとまりのある英文を聞いたり読んだりして，その内容を理解することができる。	助動詞 can, cannot (can't)の意味・用法・応答の仕方について理解している。 疑問詞 whenの意味・用法・応答の仕方について理解している。

指導と評価の計画

(全 6 時間)

次	学習内容(時数)	評 価				評 価 規 準	評価方法
		関	表	理	知		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ can , cannot(can't) の意味・用法について理解する。 ・ can , cannot (can't) を用いて 家族紹介をする。 ・ ナイアガラの滝について知る。(1) 					<ul style="list-style-type: none"> エ can , cannot(can't)の意味・用法について理解している。 イ can , cannot(can't)を用いて家族について書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート ノート
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ Part 1 本文の内容を理解する。 ・ 本文を音読する。 ・ can , cannot (can't) を用いて 自己紹介をする。(1) 					<ul style="list-style-type: none"> ウ ビデオ撮影のナレーションを聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。 イ 本文の内容が表現されるように音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート 音読
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ can を用いてスキットを作る。 ・ Part 2 本文の内容を理解する。 ・ 本文を音読する。(1) [本時 1 / 1] 					<ul style="list-style-type: none"> ア 新しく学んだ表現を用いて、積極的に活動に取り組もうとしている。 イ can を用いて、自然な流れの5文のスキットを作ることができる。 ウ ナイアガラの滝についての対話文を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 行動観察 ノート
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ when の意味・用法・応答の仕方について理解する。 ・ Part 3 本文の内容を理解する。 ・ 本文を音読する。(1) 					<ul style="list-style-type: none"> エ when の意味・用法・応答の仕方について理解している。 イ 夜のナイアガラの滝を見ての対話文を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート ノート
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ can , cannot (can't)を用いて家族紹介スピーチをする。(1) 					<ul style="list-style-type: none"> ウ can , cannot(can't)を用い、文と文とのつながりなどに注意して、10文程度の家族紹介スピーチ文を書くことができる。 ア 新しく学んだ表現を用いて、積極的に活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 行動観察
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ スピーチで紹介した家族について尋ねたり答えたりする。 ・ 評価問題をする。(1) 					<ul style="list-style-type: none"> ア 新しく学んだ表現を用いて、積極的に活動に取り組もうとしている。 ア 新しく学んだ表現を用いて、会話を続けようとしている。 イ 新しく学んだ表現を用いて、話したり書いたりすることができる。 ウ まとまりのある英文を読んで、その内容を理解することができる。 エ 助動詞 can , cannot(can't)の意味・用法・応答の仕方について理解している。 エ 疑問詞 when の意味・用法・応答の仕方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 評価問題(後日) 評価問題 評価問題 評価問題 評価問題

本時の学習

(1) 本時の目標

- ・ can を用いて，自分たちのできることやできないことについてペアでスキットを作ることができる。
- ・ 教科書本文を読み，内容を理解する。

(2) 本時の評価規準

can を用いて，自然な流れの5文のスキットを作ることができる。(表現の能力)
 ナイアガラ滝についての対話文を聞いたり読んだりして，その内容を理解することができる。
 (理解の能力)

(3) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 ウォームアップを行う。(10分)			
<p>あいさつをする。 曜日，日付，天気，時刻を言う。</p> <p>動詞句を発音練習する。</p> <p>チャット練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の答えを繰り返し言いながら板書し，発音と文字の関係を示す。 ・ 前時の復習として，プリントを見ながら，リズムに乗って正しく発音させる。 		
T) Let's have a chat. Let's talk about our family, today.			
<p>A : Who's this? B : He is my brother Vito. He likes anime very much. He can play kenpo. But he can't speak Japanese. I like him.</p> <p>A : How old is he? B : He's twenty one. A : Oh, I see.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に書いた英文をできるだけ暗記して読ませる。英文のまとまりを意識させる。 ・ 会話が続けるように，2文で答えたり，聞き返したりして，お互いが協力して工夫するよう指示する。 		
<p>前時の復習小テストをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとまりのある英文を読み，can と can't を区別して書かせる。 		
<p>情報をもとに，下線部に適する語句を書き英文を完成しなさい。</p> <p>I have a brother. He likes sports. He _____ baseball. But he _____ basketball.</p>			
		<p>兄が一人いる 兄はスポーツが好き 兄は野球をすることができる 兄はバスケットをすることはできない</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 机間指導し，書けていない場合には自己採点させ解き方を全体で考えさせる。 	

指導改善のポイント
 基本的な語彙や文法は繰り返し指導する。

指導改善のポイント
 2文で答えたり，聞き返したりして会話を続けるよう練習させる。

2 本時のねらいとすることがらを学習する。(20分)

本時のねらいを確認する。

T) This is today's goal. "We can make a skit with 'can'."

can を使って、スキットを作ることができる。

can, can't を用いて質問に答える。

T) Let's practice questions and answers. Please answer my questions.

T : Do you like sports?
 S1 : Yes, I do.
 T : Can you play baseball?
 S1 : Yes, I can.
 T : OK. You like sports.
 You can play baseball.
 T : Does S1 like sports?
 S2 : Yes, he does.
 Y : Can he play baseball?
 S2 : Yes, he can.
 T : That's right.
 He likes sports.
 He can play baseball.

- ・指導者と生徒とのインタラクションにより can を用いた疑問文と応答の仕方を導入する。
- ・Do/Does, like/likes の主語に応じた使い分けに注意させ、間違えた場合は言い直させる。
- ・Do/Does に対して、助動詞 can を用いた文では動詞の形は主語が誰であろうと変わらないことに気付かせる。

指導改善のポイント
 様々な主語を用いてドリル活動や言語活動を行う。

can を用いた疑問文と応答の練習をする。

T) OK. Let's practice some skits.

A : Do you like sports?
 B : Yes, I do.
 A : Can you play baseball?
 B : Yes, I can.
 But I can't play basketball.

指導改善のポイント
 様々な主語を用いてドリル活動や言語活動を行う。

全員で、絵カードを見て発音練習する。

- ・4枚 (you, he, she, they) の絵カードを見せながら言わせる。
- ・Do/Does, like/likes の主語に応じた使い分けに注意させ、間違えた場合は言い直させる。

ペアで、プリントの英文を見て音読練習する。

- ・ペアで発音を教え合ってリズム良く読めるように指示する。
- ・机間指導し、ペア活動を支援する。

行動観察

T) Now, let's try to make your skit.

ペアで、プリントのモデルスキットを応用して、自分たちのスキットを作る。

- ・ABC 評価の判断基準を提示し、学習のめあてを持たせる。
- ・辞書等を活用し、可能な限り自作するように指示する。
- ・机間指導し、綴りの誤りなどがいないか、自然な流れになっているか確認する。
- ・スキットを作るのが難しい生徒には、モデルスキットの会話の流れをヒントにして考えさせる。

新しく学んだ表現を用いて、積極的に活動に取り組もうとする。

ワークシート

A: Do you like _____?
 B: Yes, I do.
 A: Can you _____?
 B: _____.
 But I _____.
 : _____
 : _____

指導改善のポイント
 2文で答えたり、聞き返したりして会話を続けるよう練習させる。

can を用いて、自然な流れの5文のスキットを作ることができる。

判断基準

評価	表現の能力
A	can を用いて、自然な流れの6文以上のスキットを作ることができる。
B	can を用いて、自然な流れの5文のスキットを作ることができる。
C	can を用いて、5文のスキットを作っているが、自然な流れになっていない。can を用いていない。4文までしか作っていない。

ペアで、スキットを練習し、発表する。

- ・発表について、正しく発音できているか、声をはっきりと出しているか評価する。

3 本文の内容を確認する。(15分)

T) Let's read our textbook. マイクたちのできること・できないことは何でしょう。

新出語句の発音と意味を確認する。

wow beautiful
 ride boat
 cold across
 Here we are.
 The Rainbow Bridge

- ・綴りと発音が同じである既習の単語を例に出し、フォニックスルールを意識させる。

drive rice ride
window know rainbow

指導改善のポイント
 基本的な語彙や文法は繰り返し指導する。

- ・文またはフレーズの形でリピートさせ、意味を理解させる。

<p>本文を聞く。(1回) 教科書は見ないで、聞きながらメモを取る。</p> <p>本文の内容を大まかに理解する。</p> <p>本文を音読する。(5回以上)</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>指導改善のポイント 本文を聞いたり読んだりする際に、メモや書き込みをさせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・意味を考えながら簡単にメモするよう指示する。 ・マイクたちのできることとできないことを分かりやすく区別して書いているか確認する。 ・メモしたことをペアで確認させ、発表させる。 ・教科書を開かせ、英文を読んで、読み取りのポイント部分に下線を引かせる。 ・教科書の文字を指差しながら繰り返し読ませる。読んだ回数を記録させる。 ・一斉、個人、ペアの流れで繰り返し音読させる。 	<p>ナイアガラの滝についての対話文を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。</p>	<p>ノート</p>
---	---	--	------------

4 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。(5分)

<p>T) 今日のまとめをしよう。</p> <p>ターゲットセンテンスを音読筆写する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Can you run fast? Yes, I can. No, I can't.</p> </div> <p>宿題の確認をする。</p> <p>次時の学習の確認をする。 次時は Part 3 の本文を読む。</p> <p>あいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・練習用ノートに、Part 2 本文の音読筆写をすることと、授業用ノートに Part 3 の予習をしてくることを指示する。 		
--	---	--	--

検 証

検証の方法

別紙評価問題により検証する。

検 証

検証の方法

別紙評価問題により検証した。

検証結果

1 聞くこと

判断基準	評価	割合
3つともすべて正解している。	A	64%
2つ正解している。	B	32%
正解は0または1つである。	C	4%

2 話すこと (未実施)

3 読むこと

判断基準	評価	割合
4問ともすべて正解している。	A	12%
3問正解している。	B	44%
正解は0～2問である。	C	44%

記号で答えなければならないのに、単語を書いて答えている。(8%)
 助動詞や動詞について用法を正しく理解していない。
 会話の流れを理解していない。

4 書くこと

判断基準	評価	割合
2問とも正しく書いている。	A	40%
2問とも書いているが、大文字・小文字の誤りや綴りの誤りが全部で1～2箇所ある。	B	0%
2問とも書いているが、大文字・小文字の誤りや綴りの誤りが4箇所以上ある。1問のみ書いている。2問とも書いていない。	C	60%

2 Shin : Look at this book. It's a Japanese book.
 Mike : It's interesting.
 Shin : _____ this kanji?
 Mike : Yes, I can read it. It's "koi".

問2	解答類型	割合(%)
1	Can you read	44.0
2	類型1において、大文字・小文字の誤りが1か所ある。	0.0
3	類型1において、綴りの誤りが1か所ある。	0.0
4 x	Can you read Japanese	4.0
5 x	Can you +read 以外の動詞	16.0
6 x	You can read	8.0
7 x	Do you reading	4.0
0	無解答	24.0

解答類型5 会話の流れを理解していない。
 動詞の綴りを正しく書けない。
 助動詞や動詞の用法を正しく理解していない。
 Can you look at
 Can you writs
 Can you rat
 Can you reading is

解答類型6 疑問文であることを理解していない。

解答類型7 会話の流れを理解していない。

分析・考察

聞くこと 誤答は、can と can't の聞き分けができていないこと、接続詞 But を聞き逃している又は理解していないこと、または表にある目的語を聞き取っただけで文の意味を考えずにその答えを選んでしまったことによるものと考えられる。2文で答えたり、聞き返したりして会話を続けるように練習させてきたが、今後は肯定文と否定文の違いがはっきり分かるように発音させたり、接続詞を効果的に活用させたりする工夫が必要である。また、動詞と目的語をつないだまとまりで意味を理解させる習慣を付けさせる。

(指導改善のポイント)

読むこと 評価Aの生徒は12%のみであった。助動詞 can に続く動詞は原形であるということの定着が不十分である。繰り返し文法ドリルを行う必要がある。問題の意味を取り違えたり、応答文を読まずに答えたりしているので、書き込みをさせるなど、問題文を丁寧に読むように指導する。

(指導改善のポイント)

書くこと 問2では無解答の生徒が24%いた。応答文を読まず、会話の流れを理解していない。会話練習やスキット作りで、会話をまとまりとしてとらえることを習慣づける必要がある。疑問文と応答文の呼応は文法ドリルとして繰り返し指導する。






(指導改善のポイント)

Class _____ No. _____ Name _____

1 聞くこと（理解の能力）

学習指導要領 の領域等	ねらい	主な評価の観点
聞くこと(イ)	まとまりのある英文を聞いて、その内容を理解することができる。	理解の能力

表を見ながら次の英文を聞いて、だれのことについて話しているか、名前を書きなさい。

					
ブオキ	X	X	O	O	O
ダン	X	X	O	X	O
ボグ	O	O	O	O	X
ジロウ	O	X	O	O	X

(1)	
(2)	
(3)	

[放送文]

- (1) Hi. I like sports. I can play tennis very well. I can ski very well, too. They are very interesting sports. I like music, too. I can play the guitar. But I can't play the piano very well. It's not easy.
- (2) Hi, everyone. I like sports very much. I like tennis and skiing. I play tennis in summer and I ski in winter. I don't like music. I can't play the guitar. I can't play the piano. But I can speak Spanish very well.
- (3) Hello, there. I like winter. I can ski very well. It's very interesting. But I don't like tennis. I can't play tennis very well. I don't like music. It's not interesting for me. I can speak Spanish. I speak Spanish with my friends in Mexico City.

判断基準	評価	人数	割合
3つともすべて正解している。	A		
2つ正解している。	B		
正解は0または1つである。	C		

2 話すこと（表現の能力，コミュニケーションへの関心・意欲・態度）

学習指導要領 の領域等	ねらい	主な評価の観点
話すこと(イ)	尋ねられたことについて，適切に応答することができる。	表現の能力 言語や文化についての 知識・理解

次の質問にできるだけ詳しく英語で答えなさい。

1 Do you like music?

Yes, I do. I listen to music every day.

(No, I don't. I like sports.)

2 Can you play baseball?

Yes, I can. I'm a member of the baseball team.

(No, I can't. But I can play tennis.)

3 When do you play baseball(tennis)? (2 の答えを受けて)

I play it after school. It's interesting.

コミュニケーションへの関心・意欲・態度 判断基準	評価	人数	割合
コミュニケーションへの「積極性」が常に認められる。	A		
コミュニケーションへの「積極性」が認められる。	B		
コミュニケーションへの「積極性」が認められない。	C		

表現の能力 判断基準	評価	人数	割合
3問とも2文以上で正しく答えている。	A		
1文～2文以上で適切に答えている(理解するのに支障がない程度の謝りは可)。単語や語句などで答えている。	B		
答えているが誤りがたくさんあり，理解できない。 聞かれたことに対しての応答になっていない。応答がない。	C		

3 読むこと（理解の能力）

学習指導要領 の領域等	ねらい	主な評価の観点
読むこと（ウ）	語句や文構造について知識があり，会話文を組み立てることができる。	理解の能力 言語や文化についての 知識・理解

次の会話文の()にあてはまる最も適切な英語を，それぞれ下のア～エの中から選び，その記号を書きなさい。

1 A : () you like English?

B : Yes. I study it every day.

ア Can イ Do ウ Does エ Are

2 A : () we go to the Air Canada Center today?

B : No, we're going to Niagara Falls.

ア Does イ Is ウ Are エ Can

3 A : Does Aya like sports?

B : Yes, she does. She can () very well.

ア swim イ swims ウ swimming エ like

4 A : When () Ken play soccer?

B : He plays soccer after school.

ア do イ does ウ can エ is

判断基準	評価	人数	割合
4問とも全て解している。	A		
3問正解している。	B		
正解は0～2問である。	C		

4 書くこと（表現の能力）

学習指導要領 の領域等	ねらい	主な評価の観点
書くこと（ア）	会話の流れを読み取って、自然な流れになるように適切に英文を書くことができる。	表現の能力 言語や文化についての 知識・理解

次の英文は、マイクと慎の会話です。_____に適切な英語を書き、対話文を完成しなさい。

- Shin : Do you like sports?
 Mike : Yes, I do.
 Shin : Can you play soccer?
 Mike : Yes, but _____ tennis.
 Shin : Oh, I see.
- Shin : Look at this book. It's a Japanese book.
 Mike : It's interesting.
 Shin : _____ this kanji?
 Mike : Yes, I can read it. It's "koi."

判断基準	評価	人数	割合
2問とも正しく書いている。	A		
2問とも書いているが、大文字・小文字の誤りや綴りの誤りが全部で1～2箇所ある。	B		
2問とも書いているが、大文字・小文字の誤りや綴りの誤りが4箇所以上ある。1問のみ書いている。2問とも書いていない。	C		